FM いずのくに 令和 6 年度第三回番組審議委員会議事録

実施日時：令和 6 年 10 月 17 日(木)　14：00～15：00

実施場所：韮山生涯学習センター

出席委員：和田氏、内山氏、佐野氏、萩原氏、土屋氏
事 務 局：佐口社長、神田

1.　審議番組について
　「県大いずのくにステーション」について

和田氏
・インタビューの中で農村関係人口について触れていなかった
・外部から来た人の伊豆の国市の魅力などを聞けていたらよかった
・インタビューの頭にどこにいるかがわかった方がよかった
・背景の他の人の声が大きかった
・竹炭の効果効能などの説明があったほうがよかった

内山氏
・竹あかり実行委員会が突然出てきたことがわからなかった
・何について、何を聞きたいのかインタビューしていたのかがわからなかった
・事前リサーチ、予備知識がもう少しあった方が話を深堀することができる
・危険な道具を使う注意喚起が多かった

佐野氏
・全体的に聞きやすかった
・地元の外から来ている伊豆の国市の行事に携わっていることが素敵だと思った
・そういった学生が伊豆の国市の魅力を紹介していることもよいと感じた
・伊豆の国市に関わってくれている人たちがたくさんいてくれることに気づけた

萩原氏
・大学生が興味関心をもってくれたことがうれしいと感じた
・インタビュアーのプロフィールを最初に聞けた方がよかった
・インタビュアーの切り替わりが唐突でついていけない部分があった

土屋氏
・この番組でリスナーに何を伝えたいのがわからなかった
・外部から来た人が伊豆の国市の魅力を伝えるという観点はよいと感じた
・聞いている人に何を訴求したいのかがわからなかった

2.　その他
前回の結果についてのフィードバックなどがなくて何のために会議をしているかがわからなくなる

審議する番組の議論するポイントを事前に共有したほうがよいのではないか
個人の感想やとらえ方を話し合うだけの場になっている

地元の行事などそれぞれの思いを持って活動をしている人物がたくさんいる、そういった内容について放送していると地元コミュニティ FM らしさが出てくるのではないかと感じている

どの番組にも共通しているが、その番組の「目的」「聞いてもらってどのようなアクションをとってもらいたいか」などを十分に議論して番組制作をしてほしい

次回　令和 7 年 1 月 17 日(金)　会場は韮山生涯学習センター